

教授就任挨拶

循環器内科・臨床検査診断学講座

高 橋 尚 彦



平成25年8月1日より、循環器内科・臨床検査診断学講座の教授に就任しました高橋尚彦と申します。循環器内科診療科長ならびに検査部長を併任しています。私は昭和63年（1988年）に当時の大分医科大学を卒業した本学出身者（5期生）です。

循環器内科では、虚血性心疾患、心不全、不整脈など多くの疾患を診療しています。医療技術の進歩は目覚ましく、当科でも、冠動脈形成術、経皮的カテーテルアブレーション、植込み型除細動器、心臓再同期療法など、最先端の治療を積極的に行ってています。これらの治療を受ける患者さんは、新しくできた新病棟の7階に入院していただいている。医師と看護師が一緒になって、現在の病状や治療法を丁寧に説明します。わからないことは遠慮なくお尋ねください。外来は、月曜から金曜まで、毎日診療を行っています。

循環器疾患は、生活習慣病と密接に関連しています。高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病が動脈硬化を招き、狭心症や心筋梗塞を引き起こします。また心房細動という不整脈も、これらの生活習慣病を持った方に多く発症し、重篤な合併症である脳梗塞を引き起こします。したがって、生活習慣病の予防・管理は、非常に重要です。食生活や運動といった生活習慣の改善がもっとも大切なことはいうまでもありませんが、最近は優れた薬もたくさん使えるようになりました。それぞれの患者さんに最適な治療を行っていきたいと思います。

検査部関連としては、中央採血室の待ち時間短縮など、患者さんの負担をできるだけ少なくするよう努力しています。

大学病院の重要な使命のひとつに、「医師の育成」があります。優れた「腕」を持ち、患者さんを思いやる優しい「心」を持った医師の育成に力を注ぎたいと思います。大分の医療がさらに発展するよう全力投球する覚悟です。どうぞよろしくお願ひいたします。

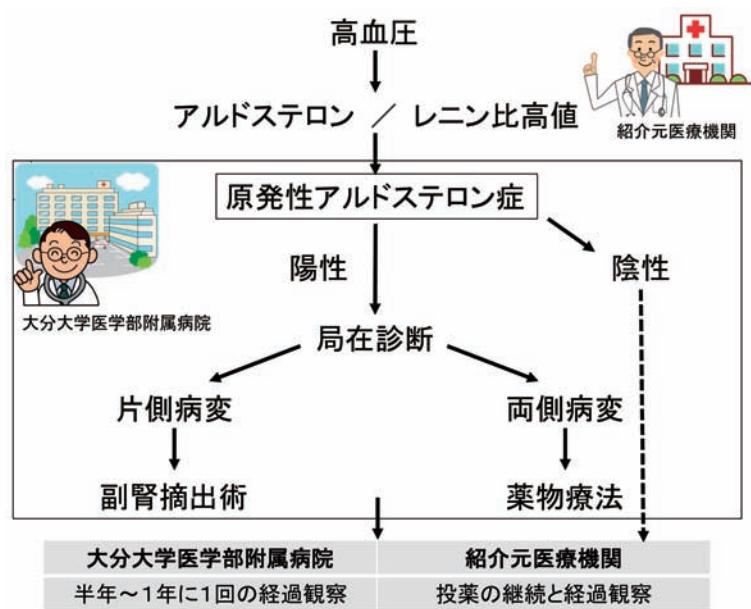
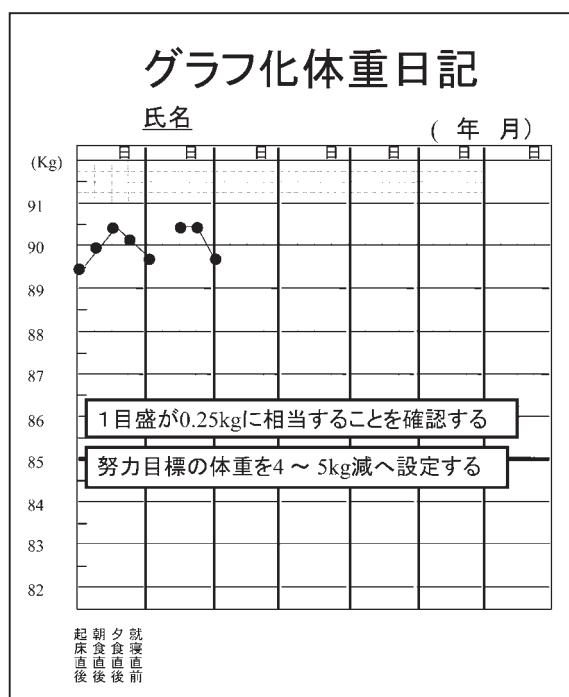
● 最新の診断と治療 ●

肥満と高血圧治療の最前線

大分県では肥満、高血圧、糖尿病などの生活習慣病が飛び抜けて多いことが厚生労働省の生活習慣病都道府県ランキング（平成21年）により示されました（糖尿病、脳血管疾患は全国第7位、人口10万人あたりの透析人口は第4位）。将来の脳血管疾患や透析導入の増加に歯止めをかけるには、無症状の肥満や高血圧の段階での治療が大切です。

当科では、「体重を増加させない生活習慣病治療」や「治る高血圧症の発見」に積極的に取り組んでいます。生活習慣病の治療で最も大切なことは、まず体重計に毎日乗ること、それ自体が最も単純で重要な治療法です。本院は日本肥満学会が認定する肥満症専門病院であり、毎日の体重を測定して記録する「グラフ化体重日記」（坂田利家名誉教授考案）を勧めております。1日4回（起床直後、朝食直後、夕食直後、就寝直前）体重を記録し、望ましくない食行動や生活習慣に自ら気づいて修正していくというものです。これらの行動療法のみでは効果が得られない重症肥満症の方は、本院消化器外科と連携して肥満症手術も行っております。我々は患者さんが自己管理できるようなサポート役に徹して体重減量が得られる治療を目指しています。

また、体重が増えると、血圧が高くなります。高血圧は多くの方で無症状なので血圧を測らなければ気づきません。しかも、血圧の値は健康な方でも1日の中で変動が多く、一度測って正常血圧であるとそのまま測らなくなる方が多いのです。しかし、肥満や高血圧がじわじわと続くと必ず糖尿病、脳血管疾患、慢性腎臓病、心臓疾患に進んでしまいます。最近、高血圧症の約10%は、アルドステロンなどのホルモン異常により起こる（二次性高血圧）ことが示され、これらは治療により「治る」可能性がある高血圧症です。本院は日本および米国内分泌学会による原発性アルドステロン症診療ガイドラインの作成に関わっており、最近急に高くなった高血圧の方や、今まで何年も降圧薬だけ内服してきた高血圧症の方の中から、「治る」高血圧を発見して適切な治療を行うことを目指しています。当科では、大分県内の病院と連携し、肥満と高血圧症の早期からの治療を積極的に行い、将来の大分県の生活習慣病に歯止めをかけることを目指しております。



● 最新の診断と治療 ●

肺がん治療の最前線

—手術後再発を抑える治療、 手術困難な肺がんを手術可能とする治療—

現在、1年間に約10万人の方が肺がんに罹り、約7万人の方が亡くなられています。最近の肺がんの特徴は、必ずしもたばこと関係がなく発症するタイプが多くなっていることです。肺がんと診断された時点で、約半数は手術可能ですが、多少進んだ段階での手術では術後の再発のリスクが高くなりますし、一方半数以上は手術困難な局所進行肺がんと手術不可能な進行肺がんです。再発をできるだけ抑える治療、手術困難といわれている進行肺がんを手術可能として治癒をめざす治療をご紹介します。

術後補助療法

手術が可能な患者さんでも進行度がⅠB～ⅢA期の場合には、完全に切除できたとしてもある程度の再発のリスクがあります。このような患者さんへは、術後に抗がん剤の追加治療を行うことで、再発を抑えることが実証されています(術後補助療法)。ただし、現在認可されている抗がん剤は限られており、もっと効果が期待されている抗がん剤を使用する臨床試験が行われています。ⅠB期に対してTS-1という経口抗がん剤、Ⅱ～ⅢA期に対してはペメトレキセド(アリムタ®)を用いた治療を、本院では臨床試験のもとで行うことができます。特に、アリムタ®を用いる術後補助療法は、大分県内では本院でのみ行うことができます。当科で手術された患者さんをはじめ、他院で手術を受けられた方も、是非ご相談下さい。

集学的治療

外科治療に加えて、化学療法(抗がん剤治療)と放射線治療を併用して、治療効果を向上させ治癒をめざす方法です。手術可能な患者さんでもリンパ節転移が高度な方や、手術困難といわれるようなⅢA期やⅢB期の患者さんが対象となります。まず、シスプラチニン+ビノレルビンもしくはシスプラチニン+TS-1の抗がん剤を2コースと、放射線治療を4週間(1回2Gyを20回、計40Gy)行います。この治療で、がんは縮小し、術前には切除困難と思われていた病変が切除可能となりますし、切除範囲を小さくする事(全摘から肺葉切除へ)も可能となる場合があります。術後はこの化学療法をさらに2コース追加します。この治療法を、私が以前在籍していた九州がんセンターで呼吸器腫瘍科責任者として行っておりましたが、昨年大分大学に赴任してからも行っております。再発率を減少させ、大変いい成績をだしており、この治療法を国内外の学会と論文で発表し、評価されております。この治療法を患者さんへ提供していきます。

- 呼吸器外科外来：毎週（火）（木）
- セカンドオピニオンも受け付けていますので、
がん診療相談支援室へご相談ください。

先進医療

表在性膀胱がんの光力学的診断

膀胱（ぼうこう）がんは、膀胱の粘膜より発生する悪性腫瘍です。膀胱内の腫瘍は、尿道から挿入した内視鏡（膀胱鏡）で観察することが可能で、明らかに腫瘍の根が深い場合などを除き、内視鏡下に腫瘍を切除する「経尿道的膀胱腫瘍切除術」を行います。

しかし、通常の内視鏡では、がんの広がりを完全に同定することは困難で、微小ながんや平坦ながんの境界を見極めることができない場合があります。

こうした問題を解決するために、本院では腫瘍の根の浅い表在性膀胱がんに対して、「5-アミノレブリン酸(5-ALA)を用いた光力学的診断(PDD)」を行っています。

5-アミノレブリン酸(5-ALA)は、もともと人間のほとんどの細胞に存在する天然アミノ酸ですが、その製剤を内服した場合、胃より吸収されて、体内のさまざまな細胞内に蓄積されます。その際、がん細胞では、正常の細胞より多く蓄積されることがわかっています。そして、この蓄積された物質に紫外線と同様の光をあてると赤色の蛍光を発光するため、内視鏡でがんの細胞だけが赤く見え、正常の細胞と区別しやすくなるのです。

この診断法を「経尿道的膀胱腫瘍切除術」の際に併用することで、より正確にがんの存在部位が同定できれば、がんを完全に切除し、再発の危険性を抑え、生命予後の改善に寄与することも期待されます。幸い、これまでに目立った有害事象（副作用）は見られていません。

現在、5-アミノレブリン酸(5-ALA)は、欧州の一部では医療用医薬品として認められていますが、日本を含む他の多くの国では医療用医薬品として認められるための申請を準備している段階です。

この診断法は、本院すでに「先進医療」としての認可を受けています（先進医療における費用46,800円）。

お問い合わせは、腎臓外科・泌尿器科へお願いします。



図1. 通常の内視鏡で観察した膀胱がん
(境界がわかりにくい)

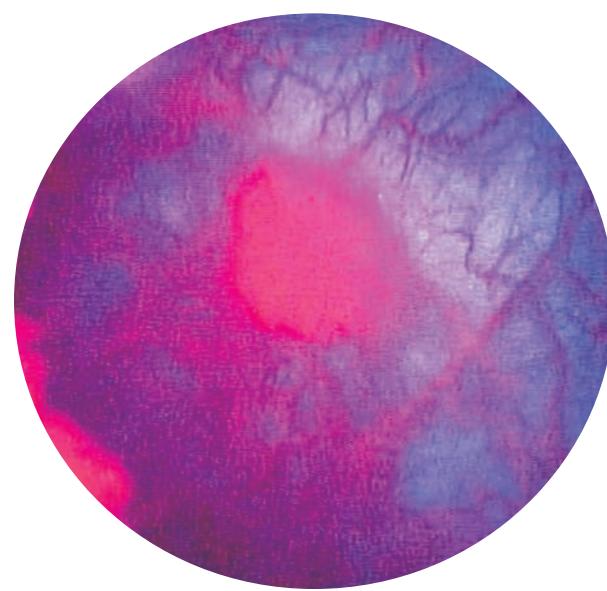
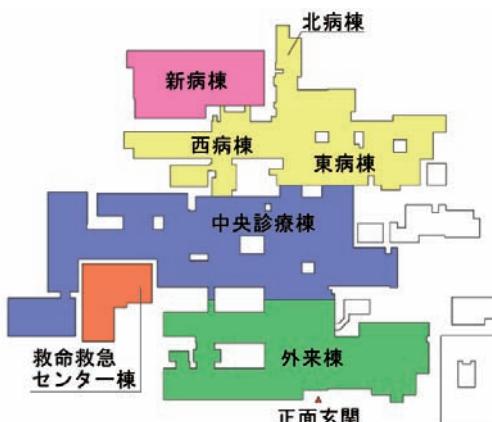


図2. 光力学的診断を用いることで赤く光る膀胱がん
(境界が鮮明になる)

*図1、図2は同一病変

シリーズ**病院再整備**

新病棟には、西病棟から連絡通路をつけて行きます。2~7階が病棟です。

【新病棟の稼働】

4月29日に東病棟が新病棟へ移転してから約5か月が経ちました。今回は、運用を開始した新病棟の様子をご紹介します。

**一般病室**

本来は4人部屋ですが、病院再整備の間は暫定的に6人部屋として運用しています。この他に2人部屋、個室(有料)があります。



特別室(有料) 新病棟3・5・7階に1室ずつ)
浴室、トイレ、テレビ、ブルーレイ・レコーダー、冷蔵庫、電子レンジ、インターネット環境、応接セットなどを完備しています。



全ての病室にトイレを設置しています。



各階にある食堂です。
窓側にはカウンターテーブルもあり、景色を眺めながらの食事もできます。



病室の窓からは、高崎山、鶴見岳、由布岳が見えます。

今後は、東病棟の改修、外来棟の増築に取り掛かります。患者さんには騒音・振動などでご迷惑をおかけしますが、引き続きご理解とご協力をお願いします。

(文責 病院再整備推進室)

シリーズ**サービス向上への取り組み**

現在、リハビリテーション部は新病棟2階で中央診療部門として機能しています。医師3名、看護師1名、理学療法士8名、作業療法士5名、言語聴覚士3名、クラーク1名がチームを結成して日々頑張っています。

対象となる疾患は脳卒中や外傷性脳損傷、脳腫瘍などの脳神経外科疾患、骨折や人工関節、切断や脊髄損傷などの整形外科疾患、ALSやパーキンソン病などの神経筋疾患、胸腹部疾患手術前後の呼吸・運動機能低下、心筋梗塞や大動脈瘤術後などの循環器系疾患、慢性疼痛、廃用症候群と多岐にわたります。これらの多くの疾患をもつ患者さんに対して、早急に最適な治療計画を立て、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等がチームでリハビリテーションを実施し、患者さんやご家族とともに総合的に高い生活の質を目指します。

写真は整形外科との早朝リハビリカンファレンスの様子です。この他にも神経内科、脳神経外科との合同リハビリカンファレンスを毎週行っています。



(文責 リハビリテーション部 片岡晶志)

医学科1年生の附属病院 早期体験・外来実習

患者の皆様には、本院における学生教育にご協力を戴き、深くお礼申し上げます。早朝に医学科1年生が外来で皆様の外来受付をお手伝いする早期体験実習を実施しております。

本年でこの実習も5年目となります。5月から11月（夏季休暇を除く）の月曜日から金曜日まで朝7時45分から約1時間、再来受付機による受付処理の手伝いや外来の案内実習を行っております。

この実習により、学生たちに、医療の現場で患者さんがどの様に医療を受けられているかを見学し、さらに、それを支えるために、多職種の職員が関わっている事（チーム医療）を体験させようと考えております。また、大学病院がどの様に地域医療を担っているかも知つてもらいたいと考えております。

学生がまだ1年生で不慣れなため、皆様にご迷惑をお掛けする場合もございますが、学生達が良い医療人として成長するために、ご協力をお願い申し上げます。

学生の感想

◆豊田 薫（大阪府出身）どんなに沈んでいても、いや、沈んでいる時こそ笑顔で周りに感謝！笑顔は幸せを作る最大の秘密兵器です。 ◆中尾能理子（大分県中津市出身）医学部の学生としてとても良い経験をすることができました。 ◆中溝めぐみ（福岡県出身）患者さんからの感謝の言葉が何よりの励ましとなることを身をもって実感することができました。 ◆永田 楓（宮崎県出身）この実習を通して医療に関わる人として必要なものを身につけられたと思います。 ◆長野雄大（大分県中津市出身）患者さんやご家族からは勿論、同じ病院で働く医師や看護師といった仲間からもきちんと信頼を得られる医師となりたい。 ◆長山理依（鹿児島県出身）今の謙虚な気持ちを忘れず、良い医師になりたいです。



（文責 医学教育センター 北野敬明、横井 功）

院内をより快適に、より便利に、安心して過ごして頂くために！

附属病院内には、患者さんやご家族の方々が少しでも院内で快適に過ごせるよう、売店やコンビニの施設があります。

【売店】・【衛生用品等自動販売機】



- ◎場 所=附属病院2階 中央廊下中央
- ◎営業時間=売 店：8:30～17:00
(土日祝等の休診日休み)
自販機：24時間（年中無休）
- ◎販売商品=売 店：衛生用品、スリッパ、書籍等
自販機：腹帯、丁字帯、三角巾、マスク
樂のみ、口腔ケアセット、イヤホン

【セブン・イレブン：大分大学医学部附属病院店】



- ◎場 所=附属病院2階 売店から奥に100メートル
- ◎営業時間=7:00～22:00（年中無休）
- ◎販売商品=通常のコンビニ用品、ATM
一部の衛生用品（おむつ等）

（文責 仁心会）

大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)

大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

1号から54号までの「かけはし」は、医事相談窓口にありますので、遠慮なくお申し付け下さい。また、医学部附属病院ホームページからもご覧いただけます。

